

# 早期景気観測調査

【4-5月期 調査結果概要報告書】

令和3年6月

 甲府商工会議所

## ◆調査要領

1. 調査の目的： 山梨県内で最も速報性の高い『街角の景況感』を把握する調査として中小企業の明日の経営活動に資する。
2. 調査実施機関： 甲府商工会議所
3. 調査実施時期： 令和3年5月17日(月)～5月31日(月)
4. 調査対象： 当所会員132事業所
5. 調査方法： ファクシミリによるアンケート方式
6. 有効回答数： 88件
7. 有効回答率： 66.7%
8. 特記事項： 原則、小数点以下第二位で四捨五入

## ◆結果概要

### 【4・5月期の動き】

**全体業況は6. 8と大きく改善し、「昨年同期より好転」の回答が多数。しかし、コロナ禍前と比較すると厳しい状況が続いている。**

4・5月期の全業種総合の業況DIは、6. 8（前期比50. 9ポイント増）と大きく改善し、回答も昨年同期より好転している事業所が多数いた。しかし、好転の理由について確認してみると、昨年同期が初めての緊急事態宣言であったこともあり、コロナ禍でも特に業況が悪かったため好転しているが、コロナ禍前と比べると厳しい状況であることは変わらないと述べている事業所がほとんどであった。

向こう3ヶ月の先行き業況は、悪化する見通し。

業種別では、全ての業種が改善となった。

**製造業**の業況DIは30. 0（前期比66. 3ポイント増）と4期連続の改善となった。

○改善⇒売上DI、採算DI、従業員DI      ○悪化⇒仕入単価DI、金融貸出しDI

向こう3ヶ月の業況は、悪化する見通し。

**建設業**の業況DIは▲35. 3（前期比2. 2ポイント増）と2期連続の改善となった。

○改善⇒売上DI      ○悪化⇒採算DI、仕入単価DI、従業員DI

○横ばい⇒金融貸出しDI

向こう3ヶ月の業況は、横ばいの見通し。

**卸売業**の業況DIは26. 3（前期比78. 9ポイント増）と6期連続の改善となった。

○改善⇒売上DI、採算DI、従業員DI      ○悪化⇒仕入単価DI、金融貸出しDI

向こう3ヶ月の業況は、悪化する見通し。

**小売業**の業況DIは17. 6（前期比46. 2ポイント増）と2期連続の改善となった。

○改善⇒売上DI、採算DI、仕入単価DI      ○悪化⇒従業員DI、金融貸出しDI

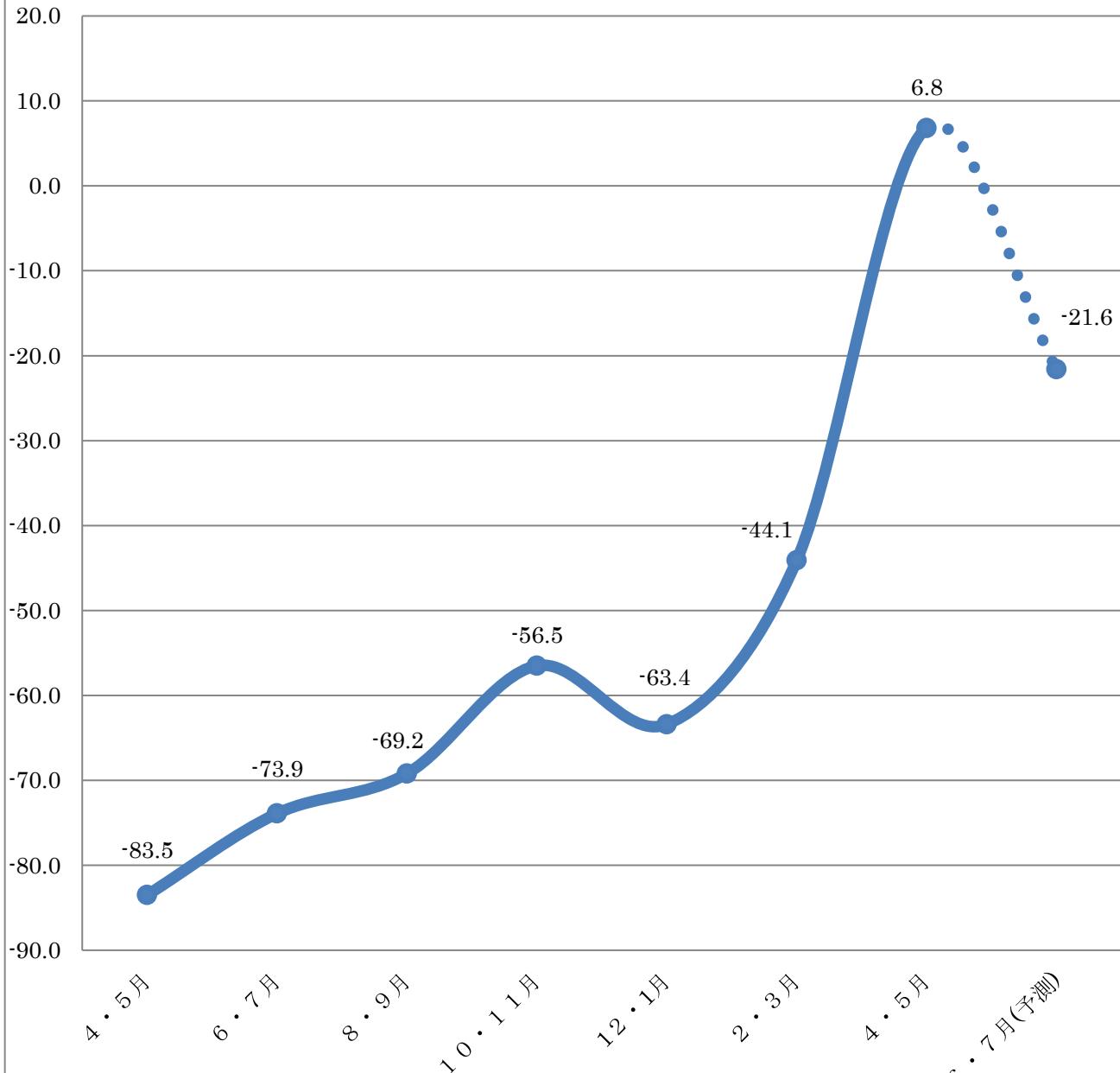
向こう3ヶ月の業況は、悪化する見通し。

**サービス業**の業況DIは▲13. 3（前期比61. 7ポイント増）と2期連続の改善となった。

○改善⇒売上DI、採算DI、金融貸出しDI      ○悪化⇒仕入単価DI、従業員DI

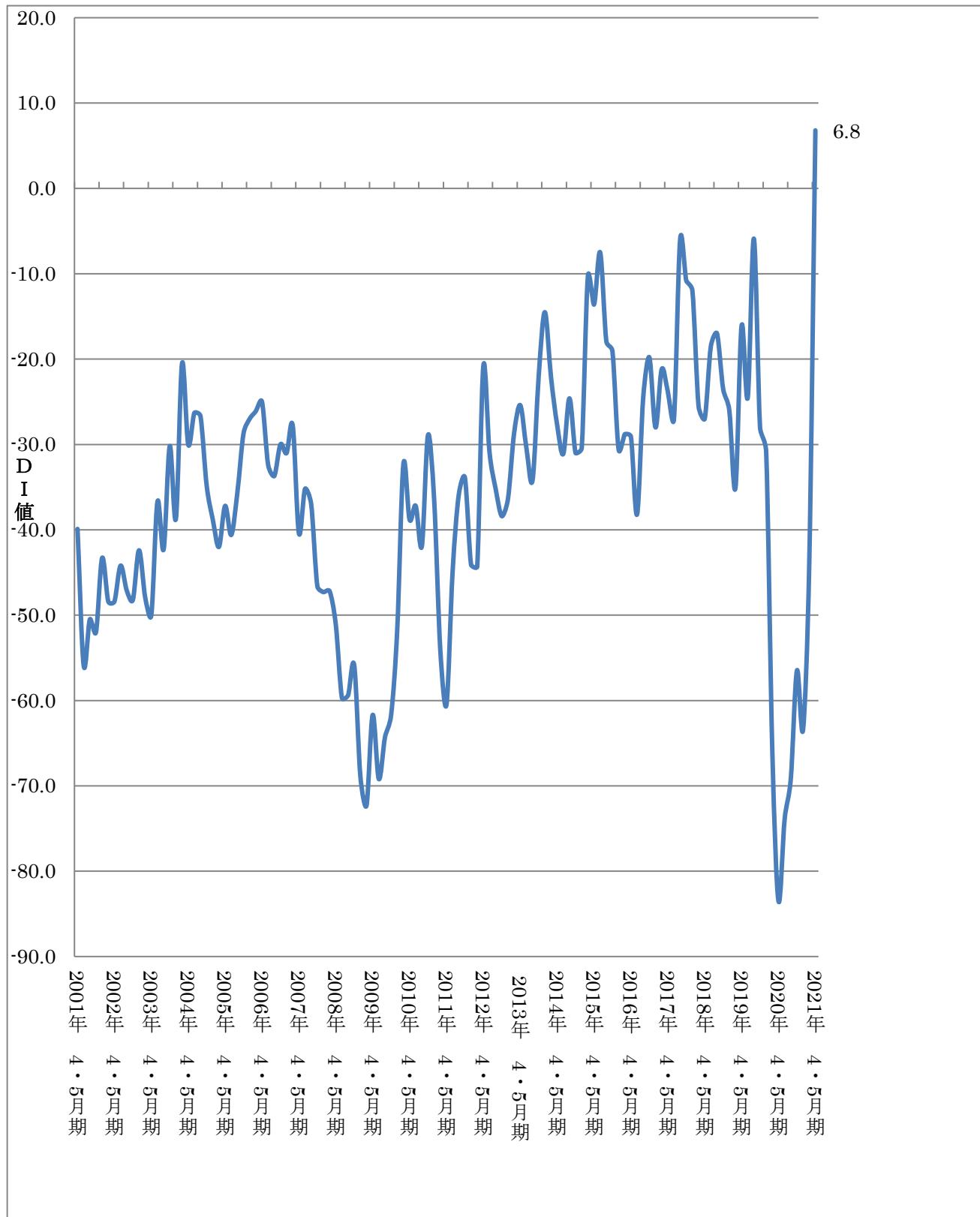
向こう3ヶ月の業況は、悪化する見通し。

## 業況D I の推移



# 業況DIの推移

## (2001年4・5月期～2021年4・5月期)



## ◆全業種・業種別詳細

### ※ D I 値（景況判断指数）について

D I 値は、売上・採算・業況などの各項目についての、判断の状況を表す。ゼロを基準として、プラスの値で景気の上向き傾向を表す回答の割合が多いことを示し、マイナスの値で景気の下向き傾向を表す回答の割合が多いことを示す。従って、売上高などの実数値の上昇率を示すものではなく、強気・弱気などの景気感の相対的な広がりを意味する。

### ◆指標の見方

前回D I に比べて（先行は今回実績値に比べて）		
改善	不変	悪化
D I 値	D I 値	D I 値

※仕入単価D I は、仕入単価が下落した場合、「↗」（改善）と表示しております。

従業員D I は、従業員が不足している場合、「↗」（改善）と表示しております。

## ◆ 全業種総合

業況	業況(先行)	売上	採算	仕入単価	従業員	金融貸出し
6. 8	▲21. 6	12. 5	▲2. 3	▲40. 9	3. 4	▲1. 1

4－5月期の全業種総合の業況D I は、6. 8（前期比50. 9ポイント増）と2期連続の改善となった。

### 項目別

- 2期連続改善⇒売上D I（▲35. 5→12. 5）、採算D I（▲39. 8→▲2. 3）
- 2期連続悪化⇒仕入れ単価D I（▲31. 2→▲40. 9）、金融貸出しD I（0. 0→▲1. 1）
- 今期より悪化⇒従業員D I（5. 4→3. 4）

向こう3ヶ月の先行き業況は、▲21. 6と悪化する見通し。

## ◆ 業種別

### 製造業

業況	業況(先行)	売上	採算	仕入単価	従業員	金融貸出し
30. 0	▲15. 0	40. 0	35. 0	▲45. 0	0. 0	▲5. 0

業況D Iは30. 0（前期比66. 3ポイント増）と4期連続の改善となった。

### 項目別

○4期連続改善⇒売上D I（▲23. 8→40. 0）、採算D I（0. 0→35. 0）

○今期より改善⇒従業員D I（▲4. 8→0. 0）

○2期連続悪化⇒仕入単価D I（▲28. 6→▲45. 0）

○今期より悪化⇒金融貸出しD I（0. 0→▲5. 0）

向こう3ヶ月の業況は、▲15. 0と悪化する見通し。

### 建設業

業況	業況(先行)	売上	採算	仕入単価	従業員	金融貸出し
▲35. 3	▲35. 3	▲29. 4	▲52. 9	▲64. 7	17. 6	0. 0

業況D Iは▲35. 3（前期比2. 2ポイント増）と2期連続の改善となった。

### 項目別

○2期連続改善⇒売上D I（▲31. 3→▲29. 4）

○4期連続悪化⇒仕入単価D I（▲56. 3→▲64. 7）

○3期連続悪化⇒採算D I（▲50. 0→▲52. 9）

○今期より悪化⇒従業員D I（31. 3→17. 6）

○今期より横ばい⇒金融貸出しD I（0. 0→0. 0）

向こう3ヶ月の業況は、▲35. 3と横ばいの見通し。

## 卸売業

業況	業況(先行)	売上	採算	仕入単価	従業員	金融貸出し
26. 3	▲5. 3	26. 3	▲5. 3	▲47. 4	10. 5	▲5. 3

業況DIは26. 3（前期比78. 9ポイント増）と6期連続の改善となった。

## 項目別

- 2期連続改善⇒売上DI（▲36. 8→26. 3）、採算DI（▲63. 2→▲5. 3）、従業員DI（5. 3→10. 5）
  - 2期連続悪化⇒仕入単価DI（▲42. 1→▲47. 4）、金融貸出しDI（0. 0→▲5. 3）
- 向こう3ヶ月の業況は、▲5. 3と悪化する見通し。

## 小売業

業況	業況(先行)	売上	採算	仕入単価	従業員	金融貸出し
17. 6	▲29. 4	23. 5	29. 4	▲17. 6	0. 0	0. 0

業況DIは、17. 6（前期比46. 2ポイント増）と2期連続の改善となった。

## 項目別

- 2期連続改善⇒売上DI（▲14. 3→23. 5）、採算DI（▲19. 0→29. 4）
  - 今期より改善⇒仕入単価DI（▲23. 8→▲17. 6）
  - 今期より悪化⇒従業員DI（9. 5→0. 0）、金融貸出しDI（4. 8→0. 0）
- 向こう3ヶ月の業況は、▲29. 4と悪化する見通し。

**サービス業**

業況	業況(先行)	売上	採算	仕入単価	従業員	金融貸出し
▲13. 3	▲26. 7	▲6. 7	▲26. 7	▲26. 7	▲13. 3	6. 7

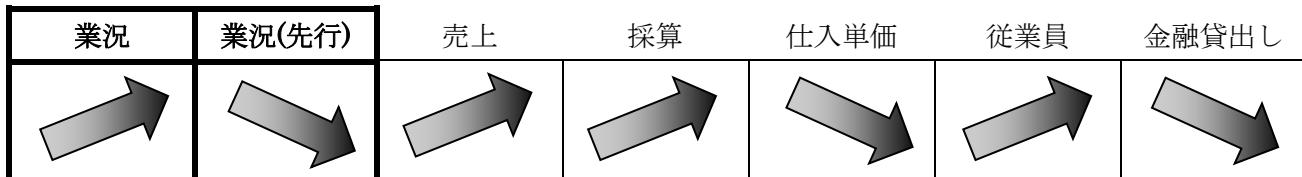
業況DIは▲13. 3（前期比61. 7ポイント増）と2期連続の改善となった。

**項目別**

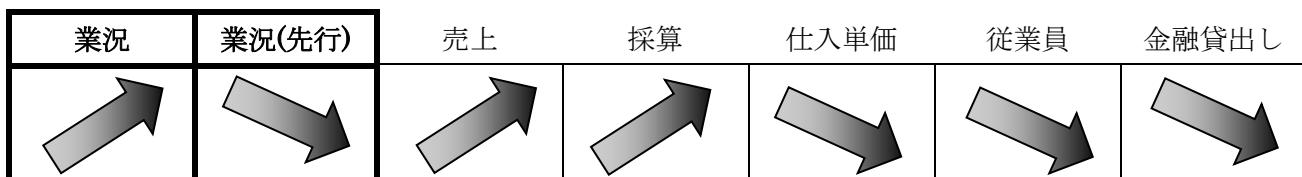
- 2期連続改善⇒売上DI（▲81. 3→▲6. 7）、採算DI（▲81. 3→▲26. 7）
  - 今期より改善⇒金融貸出しDI（▲6. 3→6. 7）
  - 今期より悪化⇒仕入単価DI（▲6. 3→▲26. 7）、従業員DI（▲12. 5→▲13. 3）
- 向こう3ヶ月の業況は、▲26. 7と悪化する見通し。

## ◆ 業種別詳細

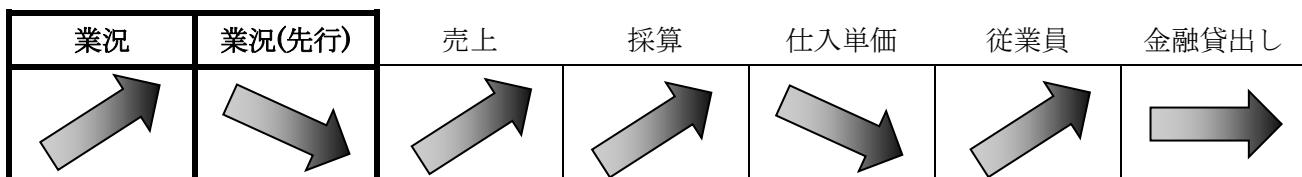
### 製造業（食品）



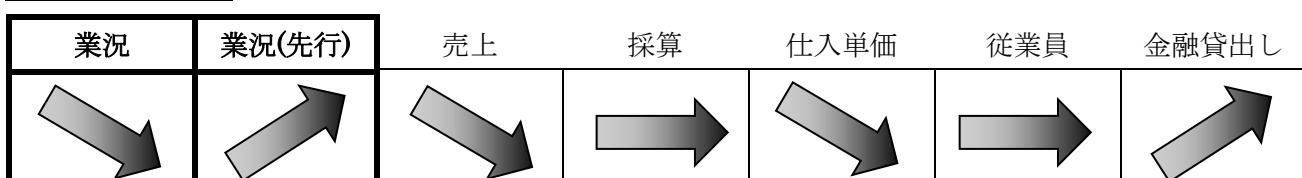
### 製造業（工業製品）



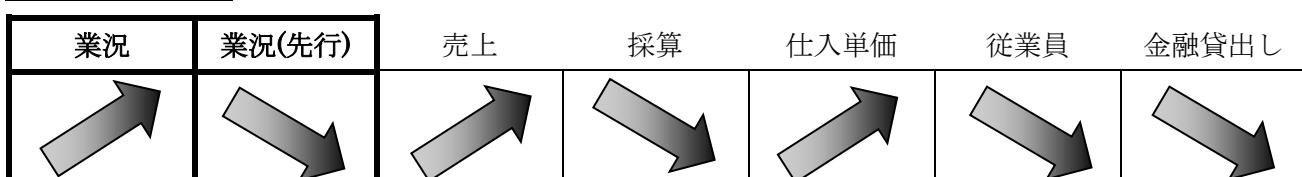
### 製造業（宝飾）



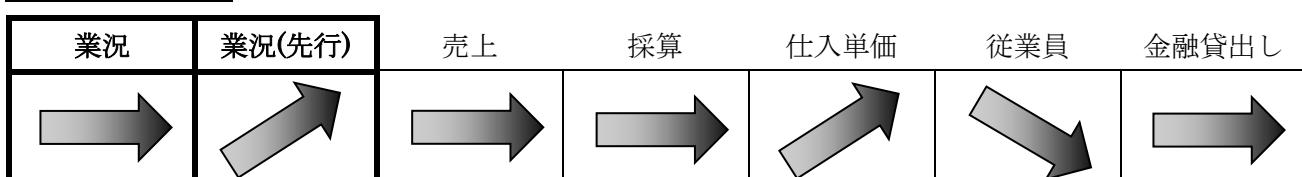
### 建設業（建築）



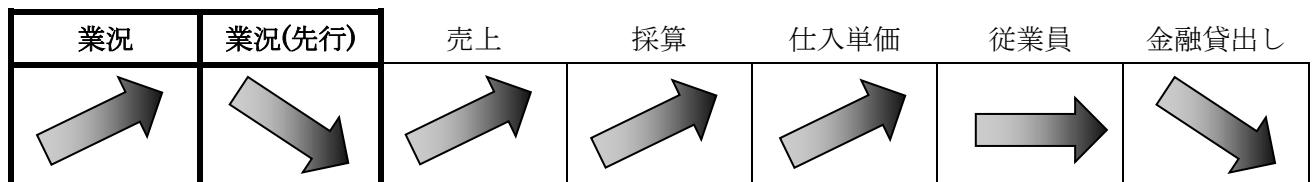
### 建設業（土木）



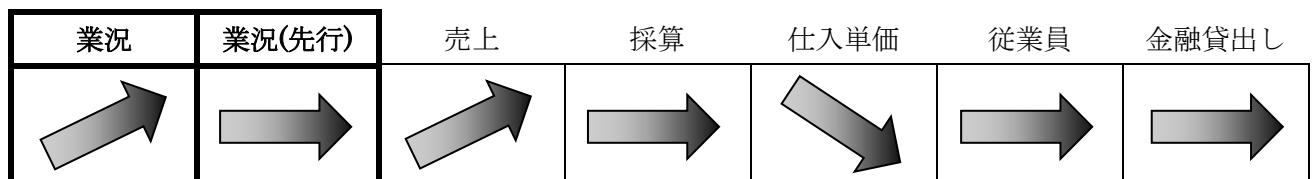
### 建設業（鉄鋼）



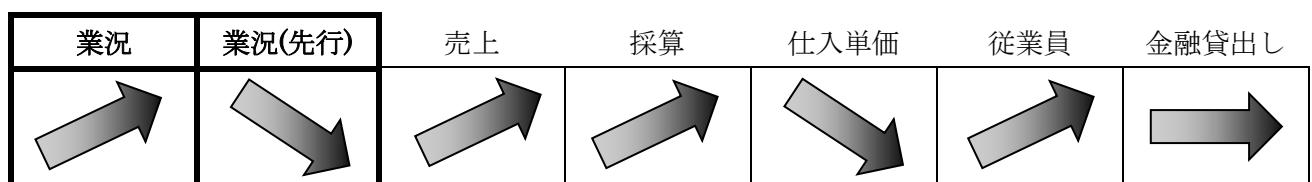
**卸売業（食品）**



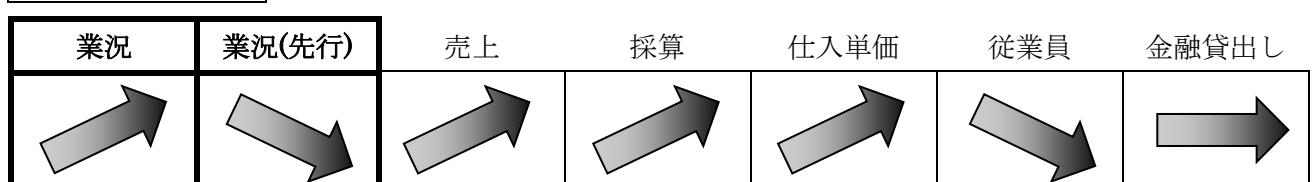
**卸売業（繊維）**



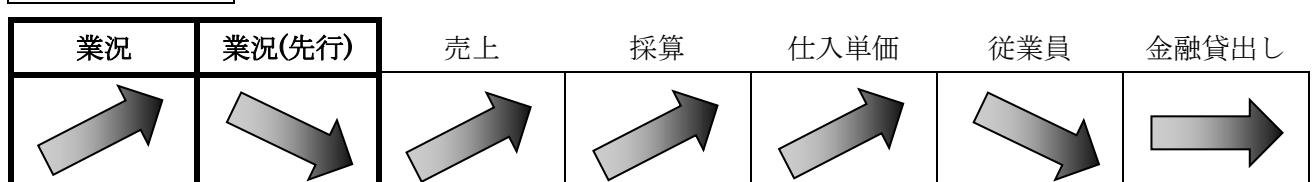
**卸売業（その他）**



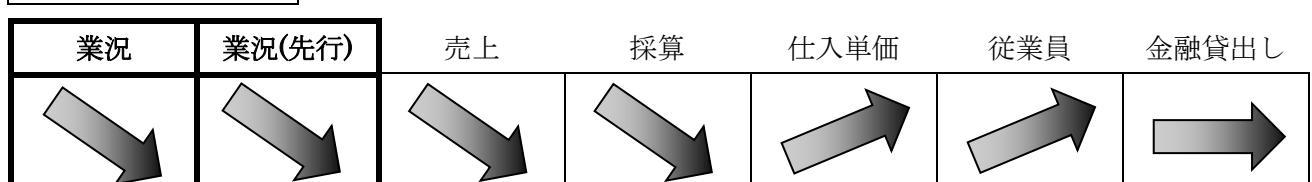
**小売業（大型店）**



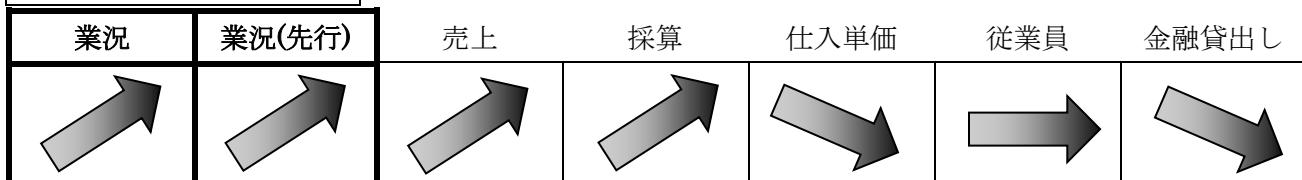
**小売業（食品）**



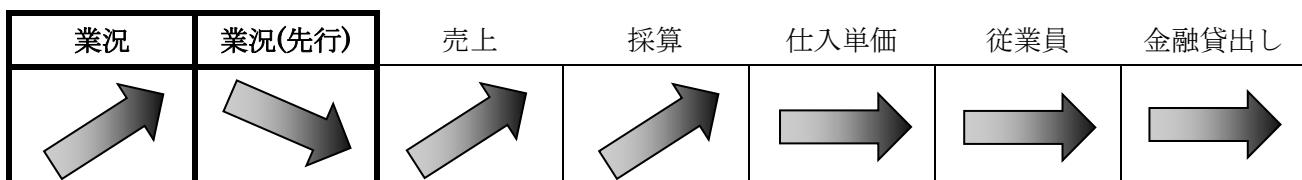
**小売業（事務用品）**



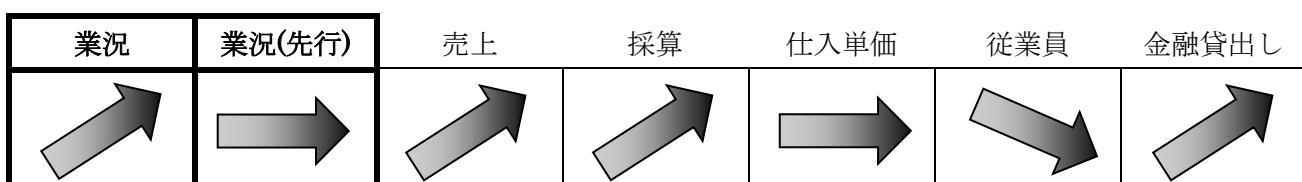
### 小売業（趣味・日用品）



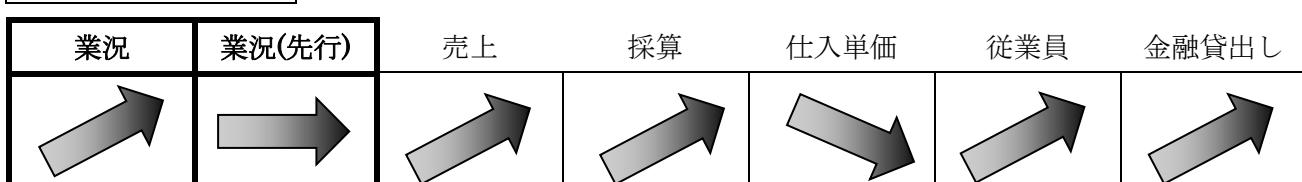
### 小売業（家電）



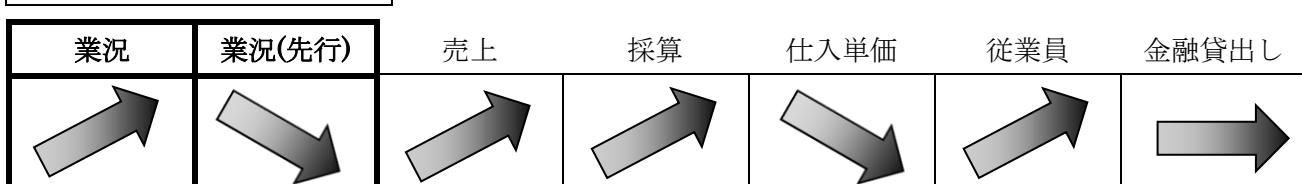
### サービス（ホテル・旅館）



### サービス業（観光）



### サービス業（飲食その他）



## ➤ 中小企業の声（現状や直面している課題 等）

### 【製造業】

#### 製造業（食品）

- ・昨年同期が1回目の緊急事態宣言の時期だったため、それに比べると業況は大幅に改善している。  
しかし、一昨年と比較すると半分程度にしか回復していない。
- ・度重なる緊急事態宣言により、飲食店への注文数激減と観光客の来客数激減と、最悪の状況が続いている。

#### 製造業（工業製品）

- ・業況は前年下期（2020年10月～）より、緩やかに回復している。
- ・人や物の動きを活発化は、ワクチン接種が早急に拡大実施されない限り難しいと考えられる。
- ・国内外ともコロナ禍の中で外注部品の入荷が思わしくなく、今後もその影響が続くのではないかと考えている。

#### 製造業（宝飾）

- ・緊急事態宣言下で営業活動がストップし、催事についてはキャンセルが続いている。
- ・再度の緊急事態宣言でGWの売上は低迷。デパートの宝飾品売り場の閉鎖等の影響が大きく、4、5月は大幅に売上減となっている。

### 【卸売業】

#### 卸売業（食品）

- ・昨年同期の緊急事態宣言下における経済活動の萎縮からは好転しているが、経営環境はまだまだ厳しい。

#### 卸売業（その他）

- ・前年同期と比較すると売上高が増加しているが、コロナ前の売上高には戻っていない。
- ・同じ業界でも格差がついてきていると感じる。

### 【建設業】

#### 建設業（建築）

- ・コロナの影響で先行き不透明感は増しているが、足元の受注等はほぼ例年並で推移している。
- ・医療施設等、コロナ関連で必要な施設の建築が目立っている。

#### 建設業（土木）

- ・仕事の話はあるが、価格競争の影響で利益が見込めない。また、材料価格も高騰してきており、今後は更に厳しくなると考えられる。

#### 建設業（鉄鋼）

- ・鋼板のベース単価が高値で安定している。また、公共事業の受注環境は不变。

## 【小売業】

### 小売業（大型店）

- ・前年同様と比較すると好転しているが、実際は一昨年を基準にすると 75%程度しか回復していない。
- ・衣料品以外の商品群は堅調に推移するも、県内で変異株感染拡大により、5月は客足が鈍る。

### 小売業（趣味・日用品）

- ・昨年同期が酷かったため好転しているが、今後回復の兆しがない限りますます苦しくなる。
- ・昨年同期が一番大変な時期だったため、本期は好転となった。他県と比べた際に、山梨は恵まれていると実感する。

## 【サービス業】

### サービス業（ホテル）

- ・コロナの影響により 4~5月はほとんど利用者がおらず、昨年同期よりもひどいと感じる状況だった。

### サービス業（観光）

- ・前年同期と比べれば良くなっているが、コロナ以前の 3~5割程度しか売上が戻っていない状況。
- ・貸切バス事業は前年同様最悪の状況が続いている。
- ・旅行客は個人での動きばかりで、団体客はほとんどいない。

以上